

令和5年度 各務原市立川島小学校 学校経営の全体構想

【学校課題】

- ◇確かな学力の育成
- ◇主体性、自治力の向上
- ◇他を思いやる心の醸成
- ◇粘り強くやり抜く力
- ◇自己肯定感の高揚
- ◇小中連携による育成

【学校の教育目標】

明るく 楽しく 元気よく 笑顔でつながる川島小

【目指す児童の姿】

自分から考え行動し、やり抜く子（自分から）：自立
他者を理解し、他者と協働できる子（みんなで）：共生

【文科指定 人権教育総合推進地域】R4～6年度
自己有用感を高め、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」ことができる人権感覚の醸成

【令和の日本型学校教育】

～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

【県の方針】

「地域社会人」～自立力・共生力・自己実現力～

【市の方針】

「誇り・やさしさ・活力あふれる児童生徒」
～一人一人が幸せを実感～

【育成を目指す資質・能力】 主体的に行動する力 仲間と共に協働する力 粘り強くやり抜く力

明るい笑顔 部会

～仲間と共に動く子～

◎安心して生活できる学校づくり

- ・自他の存在を大切にしたいさつ
- ・自他のよさを認め合う関係づくり
- ・ボランティアの推進（人権教育）
- ・いじめ未然防止と教育相談の充実
- ・心の教育の充実（道徳教育）
- ・個に応じた支援（特支教育）

◎所属感・自己有用感・達成感が 味わえる学級づくり

- ・学年段階を考えた学級経営の充実
- ・学級目標に向かう学級づくり
- ・自己有用感を高める係活動
- ・S G Eによる人間関係づくり
- ・ねらいを明確にした行事の取組

◎よりよい生活を創り出す自治力の育成

- ・児童会を中心とした自治活動
- ・縦割り集団活動

楽しい笑顔 部会

～自ら学び考える子～

◎「主体的・対話的で深い学び」 の授業づくり

主体的 意欲を引き出す導入と課題
対話的 考えをつなぐ対話的な活動
深い学び ねらいに迫る教師の手立て
学びを実感する終末

授業の基盤 一人一人を大切に
授業づくり

◎効果的なタブレットの活用

- ・習熟（学習アプリ等）
- ・活用（提示・調査・記録・交流・まとめ・発表 等）

◎高学年からの教科担任制

◎小・中の教員交流

◎学びに向かう学習集団の育成

- ・基盤となる学業指導（立腰姿勢・聞く・話す）
- ・児童が参画する学習づくり（学び委員会）
- ・学びノートの充実

元気な笑顔 部会

～健康な生活をつくる子～

◎健康な体づくり

- ・感染症等への正しい理解と行動（感染症・熱中症・罹患対策）
- ・さわやかタイム外遊び
- ・体育授業の工夫改善

◎安全な学校づくり

- ・規範意識の高揚
- ・黙々と取り組む清掃活動
- ・廊下歩行
- ・教育環境の整備（教室・運動場）

◎「自分の命を自分で守る」 危険回避能力の育成

- ・安全な登下校
- ・交通安全指導 ・通学班指導
- ・災害への対応（防災教育）
- ・実践的な命を守る訓練
- ・情報モラル教育（情報教育）

【重点活動】

- 生活目標と関連した「児童会活動の充実」 ○伝統の三本柱 あ「挨拶」そ「掃除」べ「勉強」
- 仲間と向かおう「かわまるスマイル学級賞」（学級）～意図的・計画的な 学年・学級経営～
- 自分を伸ばそう「かわまるチャレンジ」（個）～学びノート（自立） ボランティア手帳（共生）～

【校内研究】 自ら学びに向かい続け、仲間とともによりよい考えを創り出す児童の育成

～主体的・対話的で深い学びのある授業を通して～

研究内容Ⅰ：自ら学びに向かい続けるために 研究内容Ⅱ：仲間とよりよい考えを創り出すために
研究内容Ⅲ：一人一人を大切にするために

【目指す職員集団】

- ◎ 全職員で、川島小の子どもを育むために、共に動く職員集団
- ◎ 子どもの声を聴き、よさを認め、励まし、やる気を引き出す職員集団
- ◎ 子どもの思いに立って創意工夫し、粘り強く取り組む たくましい職員集団
- ◎ ともに支え合い、補い合い、認め合い、喜び合う あたたかい職員集団

【職員研修】

「人権教育」
「特別な支援を要する児童の指導」
「子どもが輝く学級経営」
「学力向上への指導改善」他

【家庭・地域・幼保中との連携】

- ・家庭・P T A：細かな連絡、ホームページ、登校の安全確保（挨拶当番）、かわまるボランティア（P T A）
- ・地域：見守り隊との交流、人権教育ワークショップの配信
- ・中学校との連携：人権教育の協働実践、小中合同指導部会、教員の人的交流 ・幼保との連携：幼保小連絡協議会